

受託団体名

石川県教育委員会

事業実績報告書

(1) 講習の実施方法： 対面講習 ・ 通信講習 (不要なものを二重線で消す)

(2) 本事業における目標等

本県、特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率を平成 31 年度中に 80% 台とし
(平成 30 年度 66. 7%)、平成 32 年度中に 90% 台を目指し、教員の専門性を高める。

(3) 事業の実施日程

事業項目	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H31. 4 文部科学省へ認定申請	●→											
R1. 5~6 文部科学省認定、石川県HP掲載、参加者募集及び決定		●→										
R1. 7~R2. 3 認定講習実施、単位認定、実績報告				●	→	→	→	→	→	→	→	→

(4) 認定講習・公開講座・通信教育の概要

認定講習・公開講座 通信教育名称	概要 講師 職・氏名	期間	定員	中心となる領域	時間数	一・二種
			受講者数 (うち単位認定者数)	含む領域	単位数	専修の別 施行規則第 7条該当欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育の基礎理論に関する科目 科目名「特別支援教育の理念と歴史」 首都大学東京准教授・河合隆平	12月26日 12月27日	80		15	一種、 二種
			79 (79)		1	一欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (教育課程等) 科目名「視覚障害の教育課程と指導法」 上越教育大学准教授・佐藤将朗	12月24日 12月25日	80	視覚障 害者	15	一種、 二種
			54 (54)		1	二欄

認定講習・公開講座 通信教育名称	概 要	期 間	定員	中心となる領域	時間数	一・二種
			受講者数 (うち単位認定)	含む領域	単位数	専修の別 施行規則第
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (教育課程等) 科目名「聴覚障害指導法」	8月26日 8月27日	80	聴覚障 害者	15	一種、 二種
	金沢大学教授・武居渡		53(53)		1	二欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (教育課程等) 科目名「知的障害の教育課程と指導」	7月29日 7月30日	80	知的障 害者	15	一種、 二種
	金沢大学教授・吉川一義		80(80)		1	二欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (心理生理等) 科目名「知的障害の心理・生理・病理」	8月22日 8月23日	80	知的障 害者	15	一種、 二種
	金沢大学准教授・吉村優子		78(78)		1	二欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (教育課程等) 科目名「肢体不自由の教育課程と指導」	8月8日 8月9日	80	肢 体 不 自由者	15	一種、 二種
	金沢大学教授・吉川一義		73(71)		1	二欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	特別支援教育領域に関する科目 (心理生理等、教育課程等) 科目名「病弱心理・生理学論及び教育課程・指導法」	7月25日 7月26日	80	病弱者	15	一種、 二種
	上越教育大学准教授・八島猛		46(46)		1	二欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	免許状に定められることとなる特別支援 教育領域以外の領域に関する科目 (心理生理等、教育課程等) 科目名「特別な教育支援児教育総論」	8月5日 8月6日	80	重複・LD 等	15	一種、 二種
	福井大学名誉教授・三橋美典		76(76)	視・聴・ 知・肢・ 病	1	三欄
石川県教育委員会 免許法認定講習	免許状に定められることとなる特別支援 教育領域以外の領域に関する科目 (心理生理等、教育課程等) 科目名「ことばの障害とコミュニケーション」	8月19日 8月20日	80	重複・LD 等	15	一種、 二種
	金沢大学教授・小林宏明		78(78)	聴・知	1	三欄

(5) 事業の実施結果

- ① 単年度で知的障害者領域における必要単位を満たすことが可能な講座が開講されているため、第1欄、第3欄及び知的障害者領域に係る第2欄の講座について定員を超える受講希望があった。視覚障害、聴覚障害、病弱者領域に係る講座については、受講希望者が定員の6割から7割となっているが、これは視覚障害、聴覚障害、病弱者領域を専門とする県立学校が本校各1校であるのに対し、知的障害、肢体不自由を専門とする県立学校は複数校あるため、学校数・教員数のバランスに応じて少なくなったものと思われる。
- ② 受講者からは、定員、開講数、開講領域に関する要望があった。また、夏季期間中は、同一施設内で他団体の研修等が多数開催され相当数の人が集まり出入りも多くなるため、研修室周辺の廊下等が騒がしくなることがあり、できるだけ静かな環境で受講したいとの要望もあった。

(6) 事業の実施成果

本事業において開講科目数を9講座（昨年8講座）とし、各講座の定員を80人（昨年60人）としたため、単位授与者数が615人（昨年556人）と昨年度と比較し増加した。

これにより、今後、本県の特別支援学校教諭免許状保有率の増加が見込まれ、教員の専門性を高めるさらなる足掛かりができた。

(7) 今後の改善事項と方策

これ以上の受講者数、開講数の増については、日程のほか、講師の確保、会場の制約等の問題があり現状では困難であるが、受講環境という点については、できるだけ静かな環境の整った会場を確保できるよう、引き続き努めていきたい。